

聖徳太子の政治と飛鳥文化

今日の問い

聖徳太子はどのような国づくりをめざし、どんな文化が栄えたのだろうか。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 聖徳太子はどんな政治をしたか。

冠位十二階・十七条の憲法

¹ 聖徳太子 は蘇我馬子と協力して、天皇中心の政治をめざした。603年に
² 冠位十二階、604年に ³ 十七条の憲法 を定め、607年には小野妹子
を ⁴ 遣隋使 として隋に送った。

2 どんな文化が栄えたか。

法隆寺・釈迦三尊像

聖徳太子のころに栄えた、日本で最初の仏教文化を ⁵ 飛鳥文化 という。聖徳太子
が建てたとされる ⁶ 法隆寺 は現存する世界最古の木造建築で、金堂には
⁷ 釈迦三尊像 が納められている。

年表 — この単元のできごと

589

隋が中国を統一する

603

冠位十二階を定める

604

十七条の憲法を定める

607

小野妹子を遣隋使として送る

まとめ

今日の問いに答えよう。「冠位十二階」「飛鳥文化」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)聖徳太子は、冠位十二階や十七条の憲法を定めて、天皇を中心とする国づくりをめざした。このころ、法隆寺に代表
される日本で最初の仏教文化である飛鳥文化が栄えた。

